

医院だより

令和 7 年 10 月 (267)

秋 山 医 院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315

神無月(かんなづき) 別名 神去月、神在月、

時雨月、初霜月

陰暦十月の称。すでに「古今集」にこの文字が見え、さまざまな説があるが、一般にはこの月、諸国の神々が出雲に集(つど)い集まるため、とされている。従って出雲では神在月(かみありつき)となるが、もとより俗説。『徒然草』のいうように、本説なし、と考えるほかはないが、起源の詮索は別として、陽暦なら十一月半ばにあたるこの季節の自然相には、何やら実感を伴ってここにひびく語感があるろう。

(注 収穫されたその年の作物を神にささげ、

神と人が共に食べて豊作を祝う「神嘗(かんなめ)

からの変化とも言われている)

(講談社「カラー図説日本大歳時記」)

アゲハチョウの幼虫



目次(頁)

- 1、十月の異称、十月の花、十月の言葉
- 2、十月の暦、お知らせ、診療案内
- 3、健康テレフォン、大岡 信選集
けんこう(百八十九)
- 4、院長のひとりごと(235)

群馬県感染症発生動向調査より

篠 輝久著「残されたもの」から

『十月の花』

野紺菊(ノコンギク)、野原薊(ノハラアザミ)、富士薊(フジアザミ)、杜鵑草(ホトトギス)、藪蘭(ヤブラン)、鶏頭(ケイトウ)、金木犀(キンモクセイ)、花ではないが、紅葉も加えてみたい。

『十月の言葉』

神よ、私の叫びを聞いてください。私の祈りに耳を傾けてください。わが心のくずおれるとき、私は地のはてからあなたに呼びわります。私を導いて私の及びがたいほどの高い岩に、のぼらせてください。あなたは私の避け所、敵に対する堅固なやぐらです。私をどこしえにあなたの幕屋に住まわせ、あなたの翼の陰にのがれさせてください。(詩篇六十一〜四)

神はその限らない恵みをもって、神の子であり人類の王であるイエスキリストによって、私のために救いの道を開かれました。それにより私は感謝しつつ日々その恩恵に浴しているものでございます。しかしこのように申したといっても、私がすでに完全無

欠の人になったというではありません。罪によつて生まれた私のことです。私から、私が天使のような純白無垢の人となりうるのは、なお永い後のことでありまして、多分私の肉体が腐敗に帰したのちのことであらうと思います。しかし恢復がすでに私のうちに始まったこと、その一事は、私の少しも疑わないところであります。私は確かにイエス・キリストの医癒（いやし）の力を感じます。

悲しき時は貧する時にあらず、国人に捨てらるる時にあらず、孤独この世に存在する時にあらず、無学をもって人にわらわるる時にあらず。悲しき時はわが心の眼に神が見えずなる時なり。わが靈魂が欽慕（きんぼ）するものの面（かお）が疑いの雲をもつて、おおわるる時なり。その時わが蔵（くら）は充つるも、われに歓喜なし。わが名は万国の民のほむるところとなるも、われに満足あるなし。わが首（こゝうべ）の上に太陽は照るも、われはひとり暗夜にたどるがごとく心地するなり。われ、わが神を見失うて、われは死せると同然なる者となるなり。われの愛する者、われの恋慕（こいぼ）う者、われの生命よりも尊きものはわが神なり。

（内村鑑三「続一日一生」九月二十三日）

「十月の暦」

- 一日 労働衛生週間
- 四日 里親デー、福島二本松提灯祭
- 五日 達磨忌
- 六日 十五夜

八日 寒露

十日 目の愛護デー

十二日 芭蕉忌

十三日 スポーツの日、日蓮聖人忌

嵐雪忌

十七日 伊勢神宮神嘗祭、貯蓄の日

二十三日 霜降

二十四日 国連の日

二十六日 原子力の日

二十七日 読書週間（11月9日まで）

お知らせ

一、マイナンバーカードでの受付を行っています。

カードは保険証の代わりになります。

まだマイナンバーカードがない方は、月の最初の受診時には、「資格確認書」をご提示ください。

二、診療案内

○4月から診療時間が変わりました。

木曜日は休診日となりました。

『午後診療』では予約診療もおこなっています。

予約は電話でも受付できますのでご利用ください。

○当番医 十二月三十一日（水）

『診療内容』

○一般外来診療

○往診・在宅医療（相談ください）

○骨粗鬆症の診療 ○ピロリ菌の診療

○CT、MRI、PETの予約

○胃・大腸内視鏡

○インフルエンザ・新型コロナ・肺炎球菌・带状疱疹ワクチンなど



フジバカマ

月	歯のかぶせ物、つめ物がとれた
火	トラベラーズワクチン
水	口と認知症
木	月経前症候群(PMS)とは
金	痛みの少ない歯科治療
土日	くちゃくちゃ食べてる？

大岡 信著 『折々のうた』(秋のうたから)

枯るるなら

一糸纏(まと)わぬ 曼殊沙華

殿村菟絲(とし)子

『菟絲(ねなしかずら)』(平二)所収。

「枯るるならとはもちろん「自分が枯れるなら」の意。七十歳を過ぎた女流俳人が、年齢を十分意識してこう詠んでいる。

枯れてもただは枯れないという心意気があるからで、だから

『一糸纏わぬ曼殊沙華』

といった。潔い自己放棄の決意が、一糸纏わぬ花の艶麗さと結びついているのである。作者自身でもあるこの曼殊沙華は、決して単なる枯れ花ではない。

夕暮れや 馬の覚えし 橋の穴

小林一茶

『八番日記』所収。霧の立ち込める秋の夕暮れ、仕事を終えた馬子と馬がいつものように木橋を渡って村に帰る。

橋には凹んだ箇所があつて、気づかず踏めば馬もつまずきかねない。しかし通い慣れた馬は穴の場所を知っていて、ごく自然に避けて通る。なごやかな農村生活のひとつま。見ている一茶自身の目のなごみ具合まで同時に感じられる。彼の人生で最も心穏やかだった五十七歳ごろの句。

けんこう(百八十九)

群馬県感染症発生動向調査より(40週)

(群馬県衛生環境研究所感染制御センター)

★新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎の報告が続いています。これらの感染症はいずれも飛沫感染や接触感染でうつります。咳やくしゃみが出るときは、「マスクをつける」「鼻と口をティッシュペーパーで覆う」「袖や上着の内側で覆

う」などの咳エチケットを心がけましょう。換気も感染予防に有効です。

★伝染性紅斑(注1)の定点当たり報告数が、引き続き警報レベルとなっています。原因となるウイルスはアルコール消毒薬が効きにくいいため、手指は石けんと流水でよく洗いましょう。

注1 伝染性紅斑 原因 ヒトパルボウイルスB19
両頬の赤い発疹からリンゴ病と呼ばれます。



ツユクサ

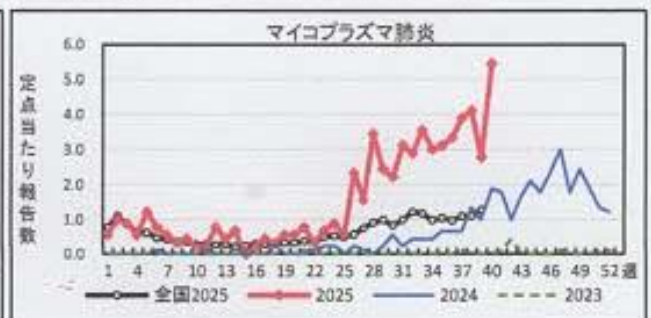
■第40週の注目疾病

(定点当たり報告数)

疾 病 名	39週	40週	北毛地域	西毛地域	中毛地域	東毛地域
急性呼吸器感染症	86.98	98.44	50.50	89.73	105.17	126.58
インフルエンザ	0.22	0.82	0.67	0.87	0.83	0.83
新型コロナウイルス感染症	6.18	4.96	3.83	6.07	6.42	2.67
伝染性紅斑	1.44	1.52	0.67	1.88	0.57	2.43
RSウイルス感染症	2.04	2.72	1.33	1.00	4.00	4.00
マイコプラズマ肺炎	2.78	5.44	0.00	3.67	12.00	4.67



※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数(令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ)から作成



※2025年第15週から小児科定点が変更となりました。

院長のひとりごと(二三五)

篠 輝久著「残されたもの」から(上)

◇何のきっかけだったか「ティーン・リーパー」という名前を知り、篠 輝久氏の著書を購入し、十年が経った。毎年の暦の9月26日に「洞爺丸事件(とうやまるじけん)」と書きこんで忘れないようにしています。

◆内村鑑三の「一日一生」という「一日一章」ずつ読んで努めたらいい一生を送れる、という本があるが、その後内村の弟子のお二人が、聖句とそれに対する内村鑑三の鑑賞・解説を内村の著書から選び出し、「続一日一生」が編集出版されました。

◇「続…」の九月二十六日の言葉に「人がその友のために自分の命を捨てること、これよりもおおきな愛はない。(ヨハネ伝十五・十三)」とありました。

①「友のために自分の命を捨てる」とはどういった状況のときのことを言ったのか

②洞爺丸事件とティーン・リーパー氏の遭難のことを念頭にこの日にこの文章を当てたのか

③偶然のくみあわせだったのか
という観点から今回、読み直してみました。

◆⁵ディーンは一九二〇年十一月十二日生ま

れ、生家の農場は、百キロメートル四方もある大きなものだったそうです。いたずら好きのやんちゃ坊主で弟と妹が一人ずついました。



◇二十一歳のとき真珠湾攻撃で日米戦争が起き、太平洋戦争がはじまりました。激しい反日の嵐の中で、彼は

「日本を戦争に駆り立てた責任は、アメリカにもある。いうことを聞かないと輸出を止めると言われれば日本側が黙って言うとおりになるだろうなんて、とんでもない、気の毒なのは、日本の国民だ。アメリカの力を知らない日本人だ」と考えていました。

◆二十一歳でイリノイ大学を卒業し、アメリカの学生にキリスト教を伝える学生伝道団

の主事選ばれます。

ますます戦闘が激しくなる中で、一九四四年、ディーン二十三歳の時アメリカ海軍に召集を受けました。海軍は優秀な青年たちを選んで、専門的教育を計画していました。ディーンの場合は日本語と日本文化の研究でした。



◇アメリカ市民は当然日本のことをよく思っていないかもしれませんが、日本研究家たちは、日本の将来のことを心配していたと言われています(ディーンの2年後輩にのちに日本に帰化された日本文学・日本学者、Donald Keeneさんがおられます)

◆戦後駐日大使となって日本にやって来たE・ライシャワー教授は、

『私が教えた数百人の日本語研究生のうち、日本を憎んだ者はひとりもいませんでした。日本研究を通じて、日本を愛し、理解するようになった者ばかりでした。』と語られています。

◇ディーンは、海軍除隊後、陸軍からの召集令状が届き、中国伝道を願っているのに日本語と日本研究をするようにとの命令が出されました。反発したけれど、次第にそれを神の意志と受け止めることができるようになっていきました。併せて1945年二十五歳の時、将来の伴侶と婚約、5か月後に結婚しています。

◆一九四五年、八月十三日号の「ニューズウィーク」では

八月六日、月曜日の朝、エノラ・ゲイ(B-29)が広島上空に飛び、小型の爆弾を落とした。トルーマン大統領は「これは原子爆弾である」と発表した。当時の広島の人々は約三十四万人、そのうち二十万人もの人々がこの一発の爆弾で亡くなり街の六割が焼け野原になりました。さらに、八月九日、長崎への原子爆弾投下と続きます。ディーンは、

「広島にも長崎にも、市民がいただろう。お母さんも子供もいたに違いない。アメリカが燃やしたの

「⁶ば、街でなく、人の体だ。」
とアメリカ軍のやり方に怒りをおぼえまし
た。

◇一九四五年には約四十万人のアメリカ兵士
が日本に上陸し、ディーンにも誘いがかり
ましたが、かれは、

「私は、占領軍の一員としては、日本に行き
たくありません」

「私は、戦勝国の軍人として日本の土を踏み
たくないのです。私は、日本人の友として日
本を訪れることを希望します」

と断り、一九四六年陸軍から除隊の許可が
出ました。このころには「自分の行く国は日
本しかない」と信じるようになっていまし
た。日本語のレベルも高くなり、日本を身近
に感じ、民間人として日本に行つて、自分の
可能性を確かめたいと思ったのです。

◆一九四八年十二月二十八日、ディーンは横
浜に、奥さんと二人の息子と四人でつま
した。YMCAというキリスト教の青年組織
でアメリカから再建のための人を必要とし
ていた時にディーンはやつて来たのでした。
しかし日本キリスト教会は、戦争で大きな
打撃を受け戦地から引き揚げてきた学生
たちは、身も心も荒れすきみ、信仰どころで
はなくなっていたのです。そんな折ですから
北海道大学を訪問した時には、学生たちが

ら冷たい視線と罵倒を受けることになりまし
た。1か月前に大学の構内で、学生四人が、
酒に酔った米兵の暴漢に襲われ、死者を出し
ていたのです。

『あなたも彼らと同じアメリカ人だ』

「オレたちのことがクソ宣教師にわかってたま
るか」

「あなたには、日本よりもアメリカの方が大切
なんでしょう」

妻のミッジはディーンと暮らした十年の間に
何度か壁の方を向いて涙を隠して泣いている
夫の姿を見たと言っています。

また一部の学生たちは

「あなたは、自分の好きな職業を選んだので
しょう。なりたくって宣教師になったのでし
う。苦しまない者に苦しんでいるものの気持
ちがわかるでしょうか。やることをやってか
らわたしたちの前に来てください」

◇このころのディーンの記事

「私たちの使命は、信仰の大きな喜びを人々
に伝えることです。キリストがどんな方であ
るか伝えるなら、その人がどんな生活をし
ていても彼の人生を根底から変えることが可
能です。働きましよう。イエス様は、頭の中で
考えるだけの教えを下さったものではありません。
彼はわたしたちの社会に、目的と意味と
を下さいました。彼は、悪い思いをおいはらっ

てしまふ、活動的な信仰をくださいました……ど
んな場合にも、どんなところにおいても、クリスチャ
ンに絶望はない」

◆『私を、どこにでも呼んでください。私は、どこに
でもいきます』

と、日本全国に活動範囲を広げました。北海道大
学、東北大学、東海大学、東京大学、京都大学、
関西学院大学、広島大学、九州大学など各地の
大学を訪問して集会を開きました。個人が主催
する家庭集会にも顔を出し、彼にとつて集まる人
の多いか少ないかは問題ではありませんでした。
そして彼が行くところには、かならず笑いが起こ
り、子供たちが集まってきました。彼は、手品の名
人でもあったのでした。

◇一九五三年、ディーンはYMCAから1年半の休
暇を取つて、エール大学で牧師になるための勉強
をすることになります。「高く飛ぶためには、長い
助走が大切」と考え今回の休暇も助走と考えたの
です。

◆まちにまつた日本への帰国は、**一九五四年九月五
日**のことでした。彼はアメリカを離れる前に、父
親に手紙を書いていきます。手紙の最後に次のよう
に書かれていました。

（…もっと努力をするように、もっと深い献身を
するようにと、神は私を呼んでおられるのです）

◇⁷九月五日、日本に帰ってきたディーンは、荷物をとくひまもなく、**二十二日**北海道へ出張に行きます。札幌や留萌で人に会い、大卒を訪ね、彼が北海道を離れるのは**九月二十六日**の午後と予定されていました。

◆最初の予約は 夜五時半出航予定の大雪丸でした。この間、九月十八日にGRAM島の西の海上で発生した熱帯低気圧(のちの命名マリー)は、北海道へ向かって進んでいました。

午後1時20分発青森行きの貨物便青函丸が高波で函館港に戻ってきて青函連絡船の中で一番大きな船だった洞爺丸に乗り換えることになりました。ディーンが予定していた大雪丸も欠航と決まり、洞爺丸にうつってきました。

◇ここでも重要な事態が起きます。

午後5時過ぎ、雨あしがぴたりと止まりました。これは台風は遠くに去り、吹き返しが弱まってきたということを表していたのです。この事態は台風の目に入った時に起きる現象でしたが、停滞前線の上に現れた、単なる晴れ間にすぎなかったのです。後者の場合に船を出すと、台風にぶつかる可能性が高くなるとされているのです。不思議なことに船は出航してしまったのです。

(続く)

